

仙北組合 総合病院 だより

発行月日 平成21年10月13日

発行責任者 後藤伸一

No.6



ご挨拶

仙北組合総合病院
内科(診療部長) 仁村 隆

平成9年から当院内科で勤務している仁村です。専門の血液(貧血、白血病など)、腎(腎炎、ネフローゼ症候群など)、膠原病(関節リウマチなど)関連の疾患を中心に、内科一般を診療しています。各分野とも進歩が著しい領域ですが、特に関節リウマチでは生物学的製剤というものが使われるようになり、劇的に改善するようになりました。

診療以外の仕事として、研修医の勧誘、指導も責任者として頑張っています。当院では以前より研修医(医師になりたての先生方)を招き入れてきましたが、平成16年からの新医師臨床研修制度で、厚生労働省から研修指定病院に指定されました。多くの若い医師を教育し、その中から将来この地域を始め医師不足で悩む秋田県の医療を支えてくれる人材が育ってくれることを祈りながら指導しています。

厚生労働省は医療改革として医療安全、感染対

策に力を入れていますが、当院でも医療安全対策室を置き、それぞれ専従の担当者を配置しています。私も感染対策委員長として冬場のノロウイルスによる感染性胃腸炎や結核、麻疹、インフルエンザ対策などに尽力しています。最近は何といっても新型インフルエンザ対策に奔走しました。当院では新型インフルエンザ対策として、「発熱外来」や「トリアージ区域」(トリアージとは災害時など多くの患者さんが搬送された時、重症度などに応じ診療の優先順位をつけて選分すること)を設置し、新型インフルエンザの患者さんが他の患者さんと接しないように対応しています。妊婦さんや透析患者さんなど感染時の重症化のリスクが高いとされる方々や、免疫力が低下している方も多い入院患者さんを守るために、発熱者を分けて診療したり、発熱、咳のある方のお見舞いを固くお断りしております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

患者様の立場にたった医療を提供するため、以下の権利を尊重します。

1. 人格を尊重されて、丁寧で思いやりのある医療を受ける権利
2. 良質で安全な医療を公平に受ける権利
3. 医療の情報や説明を理解した上で、治療方針を自己決定できる権利
4. 診療に関する情報などのプライバシーを保護される権利
5. セカンドオピニオン(別の医師の意見)を求める権利

外来のご案内をさせて頂きます。



【1階フロア】

◆外科外来

外来化学療法が、「外来治療室」で行われるようになりました。(内科も)乳癌検診はこちらの外来でやっています。麻酔科のペインクリニックの受付はこちらです。麻酔科の診察や処置は3階の手術室内でおこないます。

◆脳神経外科外来

救急対応が一番多い診療科です。地域との連携であらゆる脳神経外科疾患に対応しております。

◆整形外科外来

当院外来患者数が1番多い診療科となっております。外傷・脊髄・関節等の手術をしており、平成19年には513件になっております。

◆放射線科外来

検査だけの診療科ではありません。各診療科や地域の医療機関からの紹介で放射線治療を9月から再開する事が出来るようになりました。

【2階フロア】

◆内科外来

常勤医師は4月から佐々木先生が加わり3人となりました。

一般内科の疾患は循環器科や消化器科と日替わり診察となっておりますその為、風邪や発熱等の場合でも来院日によって診療科が異なる事がありますのでご了承ください。

◆循環器科外来

今年度から秋田大学の御協力をいただき循環器呼吸器が火曜日午後と金曜日午前中の診察が始まりました。

◆消化器科外来

内視鏡検査希望、予約の場合は持病や服薬内容により検査方法や日時の調整が必要となりますので、必ず診察をしていただきます。受診時はお薬手帳を忘れずにお持参ください。

◆歯科外来

総合病院の歯科ですので有病者の患者様や入院患者様が多く、予約制になっております。受診前に連絡を頂けると待ち時間が短縮できます。

病院に来院すると、正面玄関真っすぐの所に「微笑む少女」が迎えてくれます。外来は朝7時より受付開始で、早朝より多くの患者様や御家族の方々が再来受付けのため訪れます。一日平均約800～900名前後の患者様が17の診療科を受診されます。「地域の各診療機関からの紹介患者様」「検診を受け再検査を受けられる患者様」「具合が悪く初めて受診される患者様や再来患者様」「おめでたの方」など等、患者様の多くは採血やレントゲン検査・処置等があり、その為待ち時間が長く患者様にご迷惑をおかけする場合があります。また常勤医師不在のために「皮膚科」は限られた患者様の診察のみとなっております。



◆耳鼻咽喉科外来

頭頸部手術のために遠方から来られる患者様が多いです。外来手術なども行っております。

◆産婦人科外来

産科医療を地域との連携で行っております。妊娠検診は他の医療施設で行い、妊娠34週頃から出産までを当院で管理します。年間出産件数は約400件余となっております。また出産の不安を取り除くための教室マタニティクラス・夫婦で参加のペアクラスを企画しております。出産後は母乳外来もあり産後の相談に応じております。

◆小児科外来

入院できる診療機関が少なく紹介され入院する患者様が多い科です。救急外来受診数も多く1昨年より「休日小児救急外来」を小児科開業医の御協力をいただき当院の脳外科外来で日曜日(9時～15時まで)診察しております。受診の際はお薬手帳なければ薬持参で受診をお願いします。

◆泌尿器科外来

下田先生が転勤され熊沢先生が来られました。前立腺癌検診の再検の方が多く受診しております。受診の際は尿検査を必要とする患者様が多く、結果が出てからの診察となります。

◆皮膚科外来

火曜日・木曜日午前中「予約されている患者様」「入院中の患者様」のみ秋田大学から先生がいらっしゃって診察しております。

【その他】

外来治療室は4階の整形病棟と同じフロアにあります。麻酔科は手術室の中にあります。初めての方はご案内しております。

外来の教室として第1火曜日は糖尿病教室を医師・栄養士・薬剤師・看護師が生活指導相談にあたっています。腎臓病教室は第3土曜日・ビデオや栄養士・薬剤師・保健師・看護師等が相談に応じております。どなたでも御参加ください。お待ちしております。来院する際はお薬手帳をお忘れなく御持参ください。

※ 外来スタッフ一同「笑顔を忘れず、傾聴する姿勢で安全な医療」を心がけて参りたいと思っております。

ドックのご案内

●日帰りドック

検査日：毎週月曜日～金曜日
午前7時40分～午前11時頃
(多少時間が前後します。)
料 金：35,700円
・下記項目追加の場合
子宮がん検診3,150円 乳がん検診 3,150円} 加算となります。

●一泊二日ドック

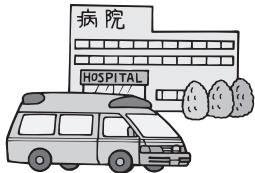
検査日：毎週月～火曜日、木～金曜日
午前7時40分～
翌日午前11時30分頃
(多少時間が前後します。)
料 金：65,100円 (女性の場合、子宮がん検診が含まれます。)
乳がん検診追加の場合3,150円加算となります。

ボランティア募集

身体の不自由な方やお年寄りが車を乗り降りする際の手助けや、車椅子や受付の補助をしてくださるボランティアの方を募集しております。

週1日から結構ですので、是非お願いします。

お問い合わせは総務課へ。電話またはEメールで。



病院祭



▲大曲農業高校生による特産物販売



▶多くの買い物客で賑ったバザー

今年で7回目をむかえた病院祭が、去る9月12日(土)当院の玄関ホールなどを会場に開催されました。当日はあいにくの雨天の影響により、参加者は約400名と前年をやや下回りました。

病院祭では、大曲西中学校吹奏楽部による演奏、大曲太鼓道場による太鼓演奏が行なわれ、予定した曲目終了後にはアンコールの拍手もおこり時間を超過する程の盛況がありました。午後からは、穂月会によるおやまばやし、大曲高校合唱部による演奏、秋田民謡五星会による民謡ショーに多くの入院患者が訪れ、ステージを楽しんでいただくことができました。

その他、JA秋田おばこ女性部と大曲農高生による農産物・特産物販売も実施され新鮮な野菜、果物など大勢の買い物客でにぎわいました。また、職員の企画として風船やヨーヨー、ポップコーンのサービス、看護師による血圧や骨密度測定、職員が持ちよったバザーも同時に実施され、職員と地域住民がふれあうことができた1日となりました。



◀看護師による血圧測定



▲大曲西中学校の吹奏楽演奏



▲穂月会による
おやまばやし



▲秋田民謡五星会による民謡ショー



▲JA秋田おばこによる農産物販売

お知らせ

平成21年4月から放射線治療装置更新のため治療を休止していましたが、8月中旬より新しい放射線治療装置が稼働しました。

放射線治療は外科治療、化学療法とともにがん治療を支える3本柱の1つで、「体にやさしく、きらぎになおす治療」で、日常生活をしながら治療できるという点に特徴があります。

今回導入した放射線治療装置はCTを利用して、最新放射線治療計画専用コンピュータにより、患者さんに最適な治療計画を細かく作成します。この治療計画は遠隔で秋田大学医学部とIT連携ができるようになりました。そのためX線照射範囲を腫瘍に限局させ、正常組織への負担を軽減させることで副作用を最小に抑えた治療が可能となっています。つまり、より正確に、より副作用が少なく、がんを治療することが容易になりました。

これまで以上に、地域がん診療連携拠点病院として、がん治療成績の向上に努めます。



新型インフルエンザ予防

ここ大仙市周辺でも流行のみられる新型インフルエンザ。その予防について紹介します。

新型インフルエンザとは、これまでヒトでの感染が知られていなかっただ型のインフルエンザウイルスによって引き起こされる病気です。1997年頃からトリに由来する新型インフルエンザの発生が懸念されていましたが、2009年春に出現したウイルスは、ブタに由来するものでした。

☆ 新型インフルエンザウイルスの感染様式

新型といってもインフルエンザウイルスであること変わりはありません。まず、インフルエンザウイルスの感染の様式について理解してください。

インフルエンザウイルスは、咳やくしゃみの際に出るしぶき（飛沫と呼びます）の中に排泄されます。インフルエンザの検査を受けたことのある方なら、鼻の奥を綿棒でこすって検査することでもわかりの通り、鼻水の中にもウイルスがあります。このようにウイルスを含んだ飛沫が鼻や口から体内へと入り込み、インフルエンザにかかりてしまいます（飛沫感染）。また、ウイルスを含んだ飛沫が手や指などにくっつき、その手指を介して体内

にウイルスが侵入する経路（接触感染）もあり得ます。

☆ 新型インフルエンザにかかるないようにするために

ウイルスが体内に入ってくることを防ぎましょう。飛沫感染予防のためには、マスクが有効です。接触感染予防に手洗い、うがいが重要です。もし、体内にウイルスが侵入してしまったとしても、ワクチンを接種していれば、インフルエンザの重症化を防ぐ効果が期待されます。

今から90年ほど前の大正時代にもインフルエンザが流行し、大きな社会問題となっています。以下は、当時の予防心得の標語です。

- 一、近寄るな - 咳する人に
- 二、鼻口を覆え - 人の為にも身の為にも
- 三、予防注射を - 転ばぬ先に
- 四、含嗽せよ - 朝な夕なに

マスクや手洗い、うがい、そしてワクチン接種の重要性は最近になってはじめて強調されているではありません。

大正時代から21世紀にいたるまで、
基本は変わっていないのです。



診療案内

外来診察医一覧

《祝祭日と第2・第4土曜日は全科休診です》

診療科	月	火	水	木	金	土
内 科	山口・仁村	茂木・佐々木	仁村・斎藤 PM進藤	山口・茂木	仁村・山中	当番医師
内科(専門外来)	—	糖尿病外来 森井	—	腎外来 小松田	—	—
循 環 器 科	加藤・秋田大学	荒川・後藤	佐々木・秋田大学 心臓血管外科第1・3・5	加藤・秋田大学	佐々木・秋田大学	当番医師
消 化 器 科	五十嵐・伊藤	高平・伊藤	五十嵐・伊藤	高平・伊藤	五十嵐 沖口・中島	当番医師
神 経 内 科	—	—	—	—	菅原	—
小 児 科	五十嵐・秋田大学	小 山	五十嵐 心臓外来(秋田大学)	矢野・小山	五十嵐	小 山
外 科	小 野	小野地・大山	平 賀	小野地	工 藤	当番医師
呼吸器外科	中 川	—	中 川	—	今 野	—
泌 尿 器 科	岡根・熊澤	岡根・熊澤	岡根・高橋	熊澤・高橋	岡根・高橋	当番医師
婦 人 科	山 本	九 鳴	牧 野	山 本	九 鳴	当番医師
産 科	九 鳴	牧 野	山 本	九 鳴	牧 野	—
耳鼻咽喉科	垂石・辻	横溝・垂石	横溝・辻	垂石・辻	横溝・垂石	当番医師
整 形 外 科	梅原・後藤	佐藤・中村	梅原・後藤 佐藤	中村・後藤	梅原・佐藤	当番医師
皮 膚 科	—	秋田大学	—	秋田大学	—	—
脳神経外科	佐々木	田 村	佐々木	大 前	佐々木	佐々木
麻 醉 科	秋 山	大 高	—	—	秋 山	—
放 射 線 科	黒 川	黒 川	黒 川	黒 川	黒 川	黒 川
歯 科	鈴木・和田	鈴木・和田	鈴木・和田	鈴木・和田	鈴木・和田	鈴木・和田

◇当院では、5月31日をもって皮膚科常勤医師が不在となったため、6月2日から皮膚科外来は秋田大学の応援医師による完全予約制外来となりました。

平成21年10月1日現在
※医師の異動等により変更あり。